

「第1回船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会」会議録

- 1 開催日時 令和2年7月8日(水)午前10時00分～10時40分
- 2 開催場所 金杉台中学校3階視聴覚室
- 3 出席者 18人
金杉台中学校 校長、教務主任、PTA2人
御滝中学校 校長、教務主任、PTA2人
金杉台小学校 校長、教務主任、PTA2人
教育委員会管理部 教育総務課長、施設課長
教育委員会学校教育部 学務課長、指導課長
教育委員会総合教育センター 所長、教育支援室長
(事務局6人)
管理部長、教育総務課課長補佐、企画係長、係員2人
学務課学事係長

【事務局(教育総務課課長補佐)】

事務局から事務連絡です。まず、本日の会議ですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、市で定めている「船橋市における公共施設再開に向けての基本的な基準」に準じ、皆様にもご協力をいただきながら、会議を進めさせていただきま
す。入室・退室時の手指の消毒、マスクの着用、咳エチケット、体調確認などにご協
力をいただくとともに、こちらの会場内では、密を避けるための換気、マイクの消毒
等適宜行いながら、進めてまいります。また、校舎内など学校の備品等には極力触れ
ないなど、ご協力をお願いします。発言の際には、マスクを着用したままでお願い
いたします。万一、発症者等が出た場合には、出席された皆様のご連絡先については学
校に確認させていただき、保健所等へ出席者名簿を提出する場合があることをご承知
おきください。

続いて、配付資料の確認をさせていただきます。まず、「次第」と書かれた資料で
す。続いて、資料1から4までを配付しております。資料の右上に資料番号を記載し
ておりますので、そちらを見ながらご確認ください。資料1-1は、「船橋市立金杉台
中学校の統合方針」です。資料1-2は、「船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備
会設置要綱」です。資料1-3は、「船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会名
簿」です。資料1-4は、「統合方針に基づく統合までのスケジュール」です。資料2
は、「統合準備会の検討事項について」です。資料3-1と資料3-2は、「統合までの間
の入学等対応策案」です。資料3-1の内容をわかりやすくフローチャート図にしたも
のが、資料3-2です。資料4は、「進学先に関するアンケートの実施について」です。
最後に、席次表でございます。資料について、不足はございませんか。

本日の出席者についてです。本日は、会員19人中、18人の出席をいただいています。教育委員会の職員ですが、保健体育課職員が新型コロナウイルス感染症対応のため、本日は欠席しております。なお、初回ですので、本来でしたら皆様から一言ずつご挨拶と自己紹介をしていただきたいところですが、「市の基準」にもあるとおり、可能な限り会議時間を短縮できるよう、これを省略させていただき、お手元の席次表に替えさせていただくことをご了承願います。

本日の検討内容の確認のため、会議録を事務局で作成します。このため、本日の統合準備会を録音させていただきます。なお、作成した会議録は、そのままの内容での公表は現時点では予定していませんが、公表が必要となった場合には、個人情報等に配慮した形で行う場合がありますことをご承知おきください。

【教育総務課長】

皆様、おはようございます。本日は、お忙しい中お越しいただき、ありがとうございます。これから、第1回船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会を開催いたします。統合準備会設置要綱第5条第1項の規定に基づき、本来であれば統合準備会会長が議長となるところですが、第1回目の会議ということで、まだ会長が選任されておられませんので、会長選任までは私にて議事を進行させていただきます。

まず、会議に先立ちまして、事務局を所管する、管理部長からご挨拶申し上げます。管理部長、お願いします。

【管理部長】

皆さんおはようございます。本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

ご存じのように年々減少傾向が続いております金杉台中学校の今後のあり方について、平成29年度から検討を始めてまいりました。今年の3月に令和5年の4月を目途として御滝中学校との統合ということの方針が教育委員会会議で決定されました。

今後統合に向けまして、様々な諸課題、整理すべきことがございます。統合に向けましては、教育委員会の中だけではなく、やはり保護者の方、学校の先生方と話し合いながら、進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。簡単ではございますが、挨拶にかえさせていただきます。

【教育総務課長】

それでは次第に沿って進めてまいります。次第の「1.会長、副会長選出」に入ります。統合準備会設置要綱第3条第3項の規定により、会長は、会員の互選で定め、同第5項の規定により、副会長は会長が指名することになっております。会長に立候補いただける方はいらっしゃいますでしょうか。

【金杉台中学校校長】

はい。

【教育総務課長】

ありがとうございます。

それでは、金杉台中学校の校長先生が会長ということでよろしくお願ひいたします。

【金杉台中学校校長】

皆さんよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、統合準備会設置要綱の規定により、会長が副会長を指名することとなります。私から指名するというので、統合先である御滝中学校の協力が必要ですので、御滝中学校の校長先生を指名したいと思います。皆様いかがでしょうか。

(異議なし)

【御滝中学校校長】

はい。お引き受けいたします。

【金杉台中学校校長】

よろしくお願ひいたします。ありがとうございます。

それでは次第に沿って進めていきます。次第の「2.本統合準備会について」に入ります。事務局から説明をお願いします。

【教育総務課長】

それでは、まず、この統合準備会が設置された経緯についてご説明いたしますので、資料 1-1「船橋市立金杉台中学校の統合方針」をご覧ください。この統合方針は、令和 2 年 3 月 5 日に開催された教育委員会会議臨時会において議決されたものです。統合方針の策定にあたっては、「1.学校教育を行う上での基本的な考え方」として、義務教育段階である小・中学校においては、一定規模の児童生徒数が確保されていることが望ましいこと、「2.小規模化に伴う課題」が 3 点考えられること、「3.金杉台中学校の現状と今後の見込み」として、金杉台中学校は、市内中学校で唯一、1 学年 1 学級の状況が続き、生徒数の更なる減少が見込まれることから、「船橋市立小・中学校の学校規模・学校配置に関する基本方針」に基づき、通学区域の変更・弾力化、統合等も視野に入れ、望ましい対応策の検討を平成 29 年度から開始いたしました。

続いて、2 ページ、「4.検討経緯」といたしましては、これまで 4 回の地域説明会、自治会・連合会との意見交換会を実施したほか、保護者アンケートを 2 回実施するなど、地域の声の把握に努めてまいりました。なお、2 回の保護者アンケートの結果からは、金杉台中学校は 1 学年 1 学級の状況が続き、今後、生徒数の増加はみられない

こと、また、通学区域の見直しを行っても生徒数の増加を図れないことがわかりました。また、これから中学校へ進学する、関係小学生の保護者の68%から「統合したほうが良い」との回答がありました。

このような検討内容、地域の声を踏まえた結果、「5.教育委員会の判断」としては、小規模化の課題を解消し、子供たちの教育環境の向上を図るためには、御滝中学校との統合が望ましいとの考えに至っております。なお、統合方針では、保護者や地域の声で挙げられた、統合に対する不安や学校の跡地活用に対する心配にも配慮しつつ、統合に向けた3つの方針をまとめました。

続いて3ページ、一つ目の統合に向けた方針は、「教育環境の向上と生徒一人一人へのきめ細かな対応に努める。」です。具体的には、1.主に部活動で、金杉台中学校の武道室、体育館、運動場を活用すること、2.統合前後の不安や心配事を把握するアンケートの実施や相談体制を整えること、3.不登校生徒の支援の充実に向けた拠点候補地の一つとして、金杉台中学校の教室活用の可能性を検討すること、の3つの課題に取り組んでいきます。

なお、跡地活用については、一時避難場所としての機能を継続したうえで、教育機関としての施設活用を図るほか、地域の活性化にもつながるよう、市長部局と協議してまいります。

続いて、4ページ、二つ目の統合に向けた方針は、「(仮称)金杉台中学校統合準備会を設置し、統合に向けた諸課題を整理する。」となります。統合時期となる令和5年4月までの間に入学する生徒の移行方法、部活動、制服、学用品、学校行事等の統合に向けた諸課題を整理し、統合を円滑に進めることを目的とし、教育委員会と、関係する金杉台中学校・御滝中学校・金杉台小学校の教職員及び保護者代表で組織する、今日のこの統合準備会を設置させていただきました。

最後に、三つ目の統合に向けた方針は、「統合の時期は、3年後の令和5年4月とする。」です。統合時期の決定については、統合先である御滝中学校の受け入れ体制の整備や、学区の見直し、条例改正等を含め、2年間の準備で統合が可能と考えますが、この3月の統合方針決定時にすでに入学準備を済ませていた令和2年度の新1年生への教育的配慮として、金杉台中学校で卒業を迎えることができるよう、3年後の令和5年4月とすることといたしました。統合方針についてのご説明は以上です。

続きまして、資料1-2は「船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会設置要綱」となります。統合準備会設置の目的、検討事項、組織等を定めております。

資料を1枚めくっていただき、資料1-3は「統合準備会名簿」です。要綱にも定めておりますが、円滑な統合のために検討、調整を行えるよう、代理の方の出席ができるようにしております。統合準備会での検討状況を共有できるよう、出席や代理出席に関し、ご配慮いただきますよう、よろしくお願いいたします。

続きまして、資料1-4は「統合方針に基づく統合までのスケジュール」です。資料1-1の「金杉台中学校の統合方針」に基づき、統合準備会の開催予定時期と検討内容のほか、学校、児童生徒と保護者、教育委員会それぞれにおいて、関わりのある取り

組みを整理し、統合までのスケジュールとして示しました。令和3年度、4年度については未定な部分もございますが、適宜更新していくことといたします。

続きまして、資料2は「統合準備会の検討事項について」でございます。詳しい内容については、このあと、次第の3で取り上げますが、ここでは、概要をご説明いたします。まず、「1.基本的事項の確認」でございますが、今後、統合に関する課題を検討するにあたり、前提となることを挙げています。(1)統合後、金杉台中学校の通学区は、御滝中学校の通学区域に変更となります。(2)統合後の校名は御滝中学校とし、制服等は変更しません。この2点については、御滝中学校の通学区域内に金杉台団地が造成されたことに伴い、御滝中学校の通学区域内に金杉台中学校が設置されたという経緯を踏まえたものとなります。(3)統合準備会での検討経過については、両校の在校生や統合までの間に入学する児童の保護者への情報提供のため、事務局にて書面を作成し、広報してまいります。

続いて、「2.検討事項」と「3.各学校・学校間での検討事項」につきましては、統合に向けた諸課題のうち、関係者間で検討し、決定すべき事項と、関係者間で調整を図っていく事項に分けて記載しております。具体的には、「2.検討事項」については、関係者間で検討し、決定すべき事項となり、統合の移行期の生徒の入学方法や、制服・学用品等の取り扱いなど、統合準備会の中で検討し、その検討内容を踏まえて、教育委員会で決定いたします。

一方、「3.各学校、学校間での検討事項」については、教育課程や部活動など、各学校における調整や、関係校の間ですり合わせ、調整していくもので、これらは、統合準備会で適宜、情報を共有しながら諸課題を整理していくこととなります。

次第「2.本統合準備会について」のご説明は以上です。

【金杉台中学校校長】

ここまでで何かご質問等がございますか。それでは次に進みます。

次第の「3.検討事項」に入ります。「(1)統合までの間の入学等対応策案」について、説明願います。

【教育総務課長】

では、次第の「3.検討事項(1)統合までの間の入学等対応策案について」、ご説明します。資料3-1、資料3-2をご覧ください。

先ほどご説明したとおり、令和5年4月に金杉台中学校は御滝中学校に統合いたしますので、現在の在校生である1~3年生は、統合前に卒業を迎えることとなります。また、令和5年4月に中学1年生となる、現在の小学4年生以下の児童は、統合後の御滝中学校に入学することとなります。しかしながら、現在、小学5・6年生の児童は、両校統合の移行期の令和3年度・4年度の2年間に金杉台中学校へ入学することとなるため、統合時に一斉転校とするか、中学入学時に金杉台中学校と御滝中学校の自由選択とするか、中学入学時から御滝中学校に入学とするか、といった、移行方法

などの諸課題を統合準備会で整理し、秋までに決定する必要がございます。

そこで、統合準備会での検討にあたり、まずは、教育委員会の関係職員で組織する「統合準備庁内会議」で、事前に関係校のご意見を伺ったうえで、諸課題を整理し、資料のとおり入学等対応策の案を取りまとめました。なお、案をまとめるにあたっては、特に、両校にとって望ましい教育環境を整えること、各家庭の多様な考えに可能な限り寄り添うこと、統合に向けて生徒の心情面や各家庭での負担を軽減すること、統合後の学校生活をスムーズに送れるよう配慮すること、の4点を重視しております。

では、これより資料に沿って、所管する各担当課から詳細をご説明いたします。

【学務課長】

資料3-1のうち「1 統合までの間(令和3、4年)に入学する中学校について」、学務課から説明いたします。

統合までの2年間、金杉台中学校の指定学区に住んでいるお子さんについては、金杉台中学校に入学していただくことを原則といたします。この間に入学したお子さんは、それぞれ3年生に進級時、2年生に進級時に御滝中学校に転校していただくこととなります。ただし、中学校入学時に、通学指定校変更を申請することにより、御滝中学校に指定校変更することができます。通学指定校変更を認める理由としては3点ございます。1点目、入学時に御滝中学校にきょうだいが在籍している場合。2点目、金杉台中学校に希望する部活動がなく、御滝中学校にはその部活動がある場合。この2点の理由は、今までも通学指定校変更を許可する理由だったのですが、2年後、1年後に統合に伴い転校しなくてはならないのなら、入学時から御滝中学校に入学することを希望するという児童については、3点目「統合時に転校することを望まない」という理由についても、教育的配慮として許可します。なお、金杉台中学校を選択できる地域に居住し、金杉台中学校への入学を希望する児童についても、今後2年間は金杉台中学校に入学し、同じように令和5年4月に御滝中学校に転校することとなります。学務課からの説明は以上です。

【指導課長】

指導課からは、「2 統合までの間(令和3、4年)に入学する児童の制服・学用品等について」、説明いたします。統合に向けて生徒の心情面の負担を軽減すること、統合後の学校生活をスムーズに送れるよう配慮するという観点から、次のとおりまとめました。

令和3年4月、令和4年4月に入学する児童のうち、金杉台中学校に入学する児童については、金杉台中学校の制服、御滝中学校の制服、どちらを着用してもよいものとし、また、令和5年4月の統合後も、金杉台中学校の制服をお持ちの生徒は、卒業まで金杉台中学校の制服を着用できるものとし、また、希望する生徒には制服バンクやリサイクルを活用して御滝中学校の制服も着用できるよう、今後、準備を進め

ます。なお、制服以外の学用品等についても、保護者に転校による金銭的負担が生じないように令和3年4月以降、両学校間で調整します。

制服バンクや制服のリサイクルに関して補足です。金杉台中学校から統合に伴い移る生徒の負担を軽くするという主旨だけでなく、御滝中学校の生徒にとっても負担の軽減につながるものと思われます。なお、市内で「ふなばし制服バンク」が不要になった制服を回収し必要な方へクリーニング代程度の額により譲るという活動をされていると聞いています。

続きまして、「3 統合に向けた生徒の交流について」です。統合に向けて生徒の心情面の負担を軽減し、統合後の学校生活をスムーズに送れるよう配慮するという観点から、統合に向けて、両校の教育課程や学校行事を調整し、生徒たちの交流事業を計画します。また両校で類似する部活動がある場合は、合同練習といったところで交流を行うことを検討いたします。

【金杉台中学校校長】

「統合までの間の入学等対応策案」について、何かご意見、ご質問はございますか。次に進みます。次第の「(2)進学先に関するアンケートの実施について」、説明願います。

【教育総務課長】

「進学先に関するアンケートの実施について」、ご説明いたします。

資料4をご覧ください。本日の統合準備会での検討内容を踏まえ「統合までの間の入学等対応策案」をもう一度整理した上で、進学先に関するアンケートを実施いたします。

「1 目的」をご覧ください。アンケートは、統合までの間の入学等対応策案について、令和3・4年度に中学校入学を迎える現小学5・6年生の保護者の皆様の率直な意見と現時点での進学先や統合への不安等を把握し、入学等対応策の決定に向けた検討資料として活用します。

「2 対象者」は、金杉台中学校の指定学区及び選択地域の小学5・6年生の保護者を対象とします。2学年で合計338人が対象となり、そのうち、指定学区が44人、選択地域が294人です。

「3 アンケート項目」は記載のとおり、原則選択式とし、属性、入学等対応策への賛否と否の場合は理由、進学予定校について、金杉台中学校か御滝中学校かとその理由、統合・転校にあたっての心配・不安なことを設問とし、理由については、自由記述欄を設けます。

続いて、裏面、「4 実施方法等」は、これまで2回行ったアンケート同様、学校を通じて配付・回収といたします。

集計結果については、教育委員会で分析の上、次回の統合準備会でお示しさせていただくとともに、市のホームページ及び、今後予定されている保護者説明会において

入学等対応策とともにお知らせするものとします。

アンケートについてのご説明は、以上でございます。

【金杉台中学校校長】

アンケートの実施について、何かご意見、ご質問はございますか。次に進みます。次第の「(3)各学校、学校間での検討事項について」、説明をお願いします。

【教育総務課長】

「(3)各学校、学校間での検討事項について」、ご説明いたします。資料は戻っていただき、資料2の後半部分、「3.各学校、学校間での検討事項」をご覧ください。

統合準備会の会員間において、特に各学校、学校間で検討を行い、統合準備会で共有しながらすり合わせ、調整していくことを列挙させていただきました。これより、資料に沿って、各担当課からご説明いたします。

【指導課長】

1点目は、「①教育課程」に関することです。教育課程には、学校行事、校外学習なども含まれます。先ほどの制服や学用品等への配慮に関わることと、両校の交流にも関わることが中心となりますが、主な調整事項は次の3点です。(1)令和3年度以降の教科の年間指導計画を調整し、副教材を共通化していく。(2)統合後に向けて教育課程を学校間で調整していく。(3)統合前から学校行事等を調整し生徒の交流事業を検討する、といったことです。

基本的にはやはり生徒の精神的な不安感は正直やむを得ないところですが、軽減していくということです。少しでも学校生活がスムーズにスタートできるように、こちらとしても配慮していきたいと考えております。

続けます。2点目は、「②部活動」に関することです。統合後に向けた調整と、統合前からの交流に関わる場合がございますが、主な調整事項は次の4点です。(1)統合後に引き続き部活動が続けられるよう検討してまいります。(2)統合前から合同実施が可能な部活動の調整をしていきます。(3)統合後に両校の施設を使用する際の課題等の整理をしていきます。(4)部活動指導員について積極的に活用できるよう検討してまいります。説明は以上です。

【教育総務課長】

続きまして、3点目は、「③その他諸課題」に関することで、3点ございます。(1)PTA組織の統合は、両校のPTA間で調整していただくこととなります。(2)保護者が負担する学校費ですが、各学校で異なっていると思いますのでこちらの統合は、学校間で調整していただくこととなります。(3)統合後の学校評議員は、学校間で調整していただくこととなります。

各学校においての調整や、関係校の間ですり合わせ、調整していくことに関しては、

今年度内に整理すべき事項と、統合までの間に引き続き検討していくことの2点がございませう。また、こちらに列挙いたしました事項以外に、対応が必要となることがありましたら、適宜、統合準備会で情報を共有しながら整理していきませう。

なお、統合準備会は、今年度4回程度、次年度以降も年3回程度開催する予定でございませう。

皆様方におかれましては、例えばPTAの組織内でご検討いただくこと、また、PTA同士で調整を進めることなどあるかと思ひませう。今後、統合準備会開催時には、関係者が一堂に集まる機会ですので、検討状況についてご報告いただきますようお願いいたします。

「(3)各学校、学校間での検討事項について」のご説明は、以上でございませう。

【金杉台中学校校長】

「(3)各学校、学校間での検討事項について」、説明がありましたが、何かご意見、ご質問はございませうか。よろしいですか。では、最後に、次第の「(4)その他」、ということですが、事務局の教育総務課から事務連絡等はありませんか。

【教育総務課長】

今回の統合準備会の開催の日程について、あらかじめ会場をお借りする関係で、金杉台小・中学校と御滝中学校の校長先生方に確認させていただきました。その結果、お忙しいところ、誠に恐縮ではございませうが、今回は、8月24日の午前中又は25日の午前中に、金杉台中学校をお借りして、開催することを予定しております。正式な出席依頼は別途学校宛てにお送りさせていただきます。PTAの皆様へは学校を通じてお送りさせていただきます予定でせう。

今回の検討事項は、今後行う進学に関するアンケートの結果を踏まえ、教育委員会で決定する予定の入学等対応策を中心に、各学校・学校間での検討・調整事項の進捗状況の報告を行います。

本日の検討内容につきましては、「お便り」としてまとめ、関係校の児童生徒に配付・市ホームページに掲載いたします。

以上でございませう。

【金杉台中学校校長】

ありがとうございました。最後に何かご質問等はございませうか。

【金杉台小学校校長】

金杉台小学校の5・6年生の児童の保護者を対象にアンケートを7月の中旬から行うということで、今日、検討のあった資料を保護者にもお配りいただけるということですが、できれば詳しい内容を保護者にお知らせしていただいた上で、アンケートをとっていただけると、うちの保護者の方々も、こういう内容だから金杉台中学校にし

たいとか、この内容だから御滝中学校に行きたいとか、お子さんと話した上で、検討事項もあると思うので、そういうところの資料を出していただいて、アンケートを取っていただくと、保護者の方の迷いも少なくなるかなと思います。一つ検討いただければと思います。

【教育総務課長】

貴重なご意見をありがとうございます。今までも保護者の方には情報提供をしているつもりですが、それだけでは足りないと思うので、もう一度また、重複してしまうかもしれませんが、対象の保護者の方には説明はさせていただきたいと思います。

【金杉台中学校校長】

私もそう思います。一番の当事者に説明してあげるのがいいことと思うので、ぜひお願いします。ほかにございますか。

【事務局(教育総務課課長補佐)】

事務局から補足をさせていただきます。ご意見いただきまして、追加の資料は検討したいと思いますが、現時点で、アンケートの前提となる情報提供といたしましては、本日の資料の資料3-1と3-2です。移行に向けての対応策案、こちらをまず資料としてご確認いただきたいというところは、前提として考えているところです。

【金杉台中学校校長】

はい。ほかにございますか。

ではまた何かございましたら、各学校を通じて教育委員会にご質問なり、要望なりしていただければと思います。

それでは、以上をもちまして、第1回船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会を閉会いたします。お疲れ様でした。